

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
在宅看護論	1年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	木田 洋子 ※
授 業 概 要					
地域で生活する人々とその家族を支援することの意義を理解し、在宅看護に必要な基礎知識を学ぶ。地域における様々な場での看護の基礎を学ぶ。また、療養者や家族のQOL向上のために、保健医療福祉システムを活用して、多職種との協働していくための方法について理解する。					
到 達 目 標					
1. 地域における様々な看護の場や活動について説明する。 2. 在宅看護の対象特性、在宅看護の定義、目的と特徴、必要性を説明する。 3. 在宅療養者と家族が直面する課題について述べる。 4. 在宅療養者の療養生活の実際、及び、在宅看護が展開されている場と看護の役割について述べる。 5. 在宅ケアにおける看護の役割、及び、これからの社会に求められる在宅看護について述べる。					
実務経験のある教員					
木田 洋子、川部 弘子：訪問看護師としての経験をふまえ、在宅看護について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	日本の在宅看護が推進されている社会的背景を概観し、地域における様々な看護活動の場の拡大：復習；「看護学概論」看護の対象・看護活動の場 1. 在宅看護の場 1) 地域の中にある暮らし 2) 地域社会と人々との関係 3) 地域における看護の実際 地域、病院、施設、保育園、学校、産業、セルフヘルプグループ 2. 在宅看護の対象者の理解 地域で生活する人々とその家族 3. 在宅看護の定義・目的 1) 在宅ケアと在宅看護 2) 在宅看護の目的・特徴 4. 在宅療養者を支える家族への支援 1) 在宅療養者と家族の特性 2) 在宅療養者と家族に関する諸問題と課題（介護力アセスメント・意思決定支援、療養・介護指導、相談・支持的援助） 3) 地域システムの視点からの家族支援＊地域のサポート、ピアサポート、レスパイトケア 5. 在宅ケアにおける看護倫理・在宅看護の制度・在宅看護のしくみ（ケアマネジメント、介護保険制度、訪問看護制度） 6. 在宅における看護の実際 1) 在宅療養生活の実際 在宅看護の展開基盤となる基本社会システム・根拠となる法律 2) 在宅看護の展開の場：継続ケアシステム、退院指導、継続看護、多職種との連携 在宅看護が行われている様々な場とその役割 3) 在宅看護における安全性の確保（医療事故・感染防止・災害時の在宅看護） 7. 在宅ケアにおける看護の役割と社会に求められる在宅看護・権利保障				木田 洋子 ※ 川部 弘子 ※
学 習 方 法					
講義 演習 グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験80点・グループワーク・課題20点					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 秋山 正子 他 著 医学書院					